

2025 年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2025 年 9 月 2 日（火）14 時 35 分～15 時 00 分
出席者	市長、副市長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局副局長、行財政局財務課長、福祉局長、福祉局副局長、福祉局介護保健課課長、福祉局国保年金医療課課長、健康局長、健康局副局長、健康局政策課長、健康局政策課課長、健康局保健所保健課課長
議題	シニア世代の健康寿命の延伸に向けた取り組み
提案概要	○疾病対策による健康寿命の延伸 <現状・課題> ・国民生活基礎調査等により、介護が必要となった原因として、「認知症」「生活習慣病（脳血管疾患等）」「骨折・骨粗しょう症」が挙げられている。 ・要介護状態になることを防ぐためには、これらの疾病を「重点対策疾病」と位置づけ、対策していく必要がある。 ・現在対策が不十分である「骨粗しょう症」、および「生活習慣病（脳血管疾患等）」について、より重点的に対策を実施していく。 <提案内容> ・要介護状態になることを防ぎ健康寿命を延伸するため、新たに骨粗しょう症検診、受診指導など骨粗しょう症対策を実施する。 ・生活習慣病の治療が必要な後期高齢者を対象に、保健師・管理栄養士・歯科衛生士のチームを編成して要治療者宅へ訪問し受診指導を実施するなど、生活習慣病対策を強化する。 ○新たな通所型サービスによるフレイル対策の充実 <現状・課題> ・軽度者向けの通所型サービスは介護予防通所サービスとフレイル改善通所サービスの 2 種類を実施しているが、選択肢が少ない。 ・介護予防通所サービスは介護事業所が実施しており、人員配置基準等は要介護者が利用する通所介護と同等のため、軽度者にとっては利用者の自立支援に適したサービスになっていない場合がある。

	・フレイル改善通所サービスを利用後、引き続きサービスによる支援が必要な場合に適したサービスの選択肢がなく、介護予防通所サービスの利用に繋がっている。 <提案内容> ・要支援１・２、心身機能に低下がみられる方を対象に、新たな通所型サービスを創設する。 ・2026年度は10か所で実施し、2030年度までにあんしんすこやかセンター圏域に概ね1か所、合計76か所程度の設置を目指す。
会議結果 (主な意見等を含む)	全体的な方向性については了。 ○今後の検討にあたっては、以下の点に留意し、次年度予算に向けて継続して議論を行うこと。 <疾病対策による健康寿命の延伸> ・新たな検診を創設し実施する場合は、健康寿命の延伸や医療費の削減にどれだけ繋がっているか等、効果検証の方法を検討しておくこと。 ・各種検診を設けていても健康に対する意識が低く受診に至らない層についての分析や対応策も検討すること。 ・医療費が高額な人工透析についての対策も検討すること。